

叡啓大学生が 起業家と合宿

大崎下島

県立の叡啓大（広島市中区）の起業部に所属する学生7人が、呉市の大崎下島で起業家と合同合宿を開いた。県立広島大学院経営管理研究科（HBM^ス、南区）で学んだ起業家と、同島の地域資源を探索。一般社団法人まめなが運営する宿泊施設を拠点に議論を深めた。

最終日にはグループに分かれて同島でのビジネスプ



起業家たちと議論を深める
叡啓大の学生（前列）

ランを発表。学校になじめない子どもが親と一緒にゆつくり過ごす場の提供や、従業員のメンタルケアのため企業が福利厚生に活用できる施設を設ける案など、豊かな自然を生かした「癒やし」の効果を狙った提案が目立った。県内の学生が研究や交流をする拠点にしては、との案もあった。

部長の清水渚さん（20）は「起業経験のある人からアドバイスをもらいながら考えることで、みんなのモチベーションが高まった」と話した。